

立命館大学大学院

言語教育情報研究科 (LEIS) 主催

Graduate School of
Language Education and
Information Science

2025年8月30日(土)

13:30~16:30

@立命館大学大阪いばらきキャンパス

H棟2階 インフィニティホール

※当日はオンラインでも配信します

公開シンポジウム

「生成AIで言語教育 はどうかわるのか？」

登壇者

木村 修平

LEIS修了生

(ファシリテーター兼パネリスト)

浅原 正幸

(パネリスト・話題提供)

南部 久貴

(パネリスト・話題提供)

水本 篤

LEIS修了生

(パネリスト・話題提供)

～今言語教育に求められている
人材像とは～

立命館大学大学院言語教育情報研究科 (LEIS) では、言語教育の最先端で活躍するゲストおよびLEIS修了生をパネリストに招聘し、英語教育・日本語教育と生成AIとの今後について考えるヒントとなるシンポジウムを開催します。どなたでも自由にご参加いただけます。参加希望の方は裏面QRもしくは研究科HPよりお申込みください。

トークテーマ

生成AIと
日本語データ

話題提供:

浅原 正幸氏

生成AIが拓く
英語授業の未来
ー高校での実践からー

話題提供:

南部 久貴氏

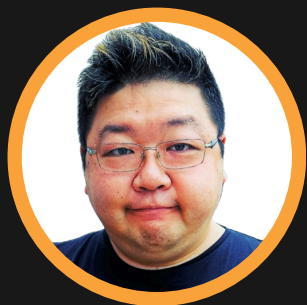
LEISでの学びが
生成AI活用に
どのように繋がったのか

話題提供:

水本 篤氏

CONTACT US

登壇者プロフィール



木村 修平

立命館大学生命科学部
生命情報学科教授



浅原 正幸

国立国語研究所 次世代
言語科学研究センター
センター長



南部 久貴

立命館大学グローバル・
イノベーション研究機構
補助研究員



水本 篤

関西大学 外国語学部・
外国語教育学研究科教授

ミシガン州立大学社会科学部卒業、立命館大学大学院言語教育情報研究科修了、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。博士（政策・メディア）。専門は高等英語教育における情報通信技術（ICT）の利活用。立命館大学4学部で展開するプロジェクト発信型英語プログラム（pep-rg.jp）の運営コアメンバーのほか、外国語教育メディア学会（LET）関西支部傘下の電子語学教材開発研究部会部会長を務める。

総合研究大学院大学 日本語言語科学コース 副コース長・教授。立命館大学言語教育情報研究科客員教授。専門は自然言語処理・認知科学。時間・空間・存在に関する言語表現と知覚についての研究を進めている。2024年 Outstanding Senior Area Chairs: The 2024 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing (EMNLP-2024), 言語処理学会30周年記念論文賞受賞。

滋賀県立彦根東高等学校 英語科教諭／京都大学大学院 人間・環境学研究科博士後期課程在籍。著書に『ChatGPT×教師の仕事』（2023年, 明治図書出版）, 『英語教師のためのChatGPT活用ガイド』（2024年, 明治図書出版）, 『探究×ChatGPT実践ガイド』（2025年, 明治図書出版）がある。文部科学省「AIの活用による英語教育強化事業」（滋賀県「英語教育イノベーション事業」）のAI英語活用リーダーを務めている。

専門はAI・コーパスの教育利用、語彙学習方略、言語テストング。近年は生成AIやコーパスを利用した学習と指導に関する研究を主に進めている。2014年全国英語教育学会（JASELE）学術奨励賞受賞。2016年英語コーパス学会（JAECS）奨励賞受賞。2017年外国語教育メディア学会（LET）学術賞受賞。文部科学省「AIの活用による英語教育強化事業」企画調整委員。

言語教育情報研究科長よりご挨拶



研究科長 有田 節子

言語教育情報研究科（LEIS）は時代の変化に対応する言語教育の専門家を育成しています。本シンポジウムでは、自然言語処理の専門家の浅原氏と、生成AIの英語教育への活用の最前線で活躍する水本氏、高校英語教育でAI活用を実践する南部氏、そして本学の先進的英語教育プログラムを牽引する木村氏がファシリテーターとなって、AI時代の言語教育が求める人材像を考えます。教育現場でAI活用を進めておられる方、これから進めようと考えておられる方、言語教育や言語研究に興味・関心をお持ちの方など、多くの方々にシンポジウムにご参加いただき、最新事例を共有しながら、今後の言語教育の担い手に必要な資質などについて一緒に考えていければと思っています。

参加申込

参加を希望する方は右の申込用QRコード、もしくは下記言語教育情報研究科HPより事前申込をおこなってください。

